

県政 かわら版

2013
11
No.57

栄町・酒々井町選出
千葉県議会議員

岩井やすのり



岩井やすのりの県政かわら版 No.57 (2013/11月号)

犯罪被害者支援 総合的対応窓口の設置状況

	設置市町村	設置率
全国平均	1,722団体中1,188団体	69%
千葉県	54団体中18団体	33%

印旛郡市近隣自治体における犯罪被害者支援の状況

	施策主管課	総合的対応窓口の設置
栄町	総務部行政班	×(未設置)
酒々井町	×(未確定)	×(未設置)
成田市	市民生活部交通防犯課	○
印西市	市民部市民安全課	×(未設置)
佐倉市	市民部防災防犯課	×(未設置)
四街道市	総務部自治振興課	×(未設置)
富里市	×(未確定)	×(未設置)
神崎町	総務課	○
多古町	住民課住民係	○

窓口設置3割、犯罪被害者支援 各自治体における犯罪被害者等施策に関する施策主管課の確定と、犯罪被害者への総合対応窓口の設置について、犯罪被害者等基本法が施行された05年以降、「自治体の責務」として速やかな対処が求められました。

平成25年4月1日現在の全国市区町村における同窓口の設置状況は、1722団体中1188団体と約69%ですが、千葉県は54団体中18団体、約33%と大きく立ち遅れています。秋田、山形、栃木、群馬など全国18府県では、全ての市区町村にて施策主管課及び総合対応窓口双方が確定、設置されていることを鑑みれば、千葉県内市町村の犯罪被害者支援が大

県条例整備で意識の高まりを

また、各自治体において、被害者支援について求められる役割や、地方行政と犯罪被害者等との関わりに関する理解不足が見受けられ、関係機関の意識向上を図るためにも県条例の整備は不可欠です。

同常任委員会においては、平成24年に県及び県下全ての自治体において犯罪被害者等の支援条例を整備した岡山県の事例を念頭に、千葉県犯罪被害者支援条例の整備を検討するよう要望いたしました。

犯罪被害者の支援にあたっては、最も身近な行政機関である市町村に、犯罪被害者等に関する情報提供を行う「総合的な対応窓口」(=総合対応窓口)の設置が必要です。

酒々井町は

担当部局の早期確定を

印旛郡内でも未だ多くの自治体で総合対応窓口が設置されています。また、犯罪被害者支援の担当部局が確定していない酒々井町では、犯罪被害に遭われた方にとて被害者相談や犯罪被害者給付といった支援制度が得にくい状況にあり、施策主管課の早期確定が必要です。

この10月県議会の環境・警察常任委員会においては、県内自治体の総合対応窓口設置の遅れを指摘し、地域による偏りのない、犯罪被害者への相談、支援体制の確立を強く要望いたしました。

また、各自治体において、被害者支援について求められる役割や、地方行政と犯罪被害者等との関わりに関する理解不足が見通しについてご報告いたします。

10m×3mのセットバックで右折レーン設置へ

富里方面からふじき野、東酒々井方面への右折車両が渋滞する国道296号東酒々井入り口交差点。県議会一般質問で訴える等、具体的な要望活動を重ねた結果、今年度からいよいよ着工するに至っています。

今回は、その進捗状況と完成の見通しについてご報告いたします。



セットバック工事が進む東酒々井入口交差点付近

交差点改良完成へ 26年2~3月の見込み

右折レーン設置にあたって要となるセットバック工事は、3軒の用地買収が必要となりました。県は本年3月、既に了解を得られていた2軒の部分について工事を発注し、現在、歩道は路盤状態（アスファルト化する一歩手前）にあります。一方、残っていた1軒についても用地買収が完了し、この12月に工事を発注する予定です。東酒々井入口交差点に右折レーンを設ける交差点改良事業の完成は、来年2~3月頃となる見込みとなっています。

一方、アウトレットへのアクセス道路と国道296号が交差する富里七栄地先交差点は、未だ複雑な形状のままであります。付近は通行量が増えているだけに早期の対策が望まれます。そのため、引き続き、県による交差点改良の実施を求めてまいります。

富里七栄地先 交差点が今後の課題

被害者支援窓口の設置拡大を要望

～県環境・警察常任委員会

東酒々井入口交差点 改良事業の進捗状況について

こと、付近は中学校への通学路にあたり十分な歩道幅の確保が不可欠であること、道路脇には移設困難な鉄柱やガソリンスタンドが存在すること等が事業化を難しくしていたものですが、ガソリンスタンド側用地を10メートルにわたって約3倍のセットバック（道路より建物を後退させること）をすることで事業の目途がつき、平成24年度予算より計上されたものです。

そもそも交差点の形状が複雑な

